

資格を取得し、早くも1年が経過しました。自施設でのケア方法しか知らなかった私は、研修を通して他の施設でのケア方法の違いに戸惑いと驚きで衝撃が大きかったことを思い出します。研修終了後、まずは他施設のNICUの紹介とケア方法の違いを機会があるごとに話していきました。業務中心のケアから、**新生児の状態や、睡眠・覚醒のパターンを調整したケア、新生児を中心とした家族のかかわりを支えるケア**へと変化してきました。新生児が好きなスタッフが多く、「どうすればこの子にとって良い看護が行えるか？」と一緒に考え実践しています。

新生児集中ケア認定看護師  
前田 知子

## 一年間の活動報告



一年前に資格取得後、院外での救急看護に関する講義や演習を行い、院内では**ER症状別マニュアル作成やトリアージ、シミュレーション学習会**など救急看護の質向上のために活動しています。また、BLS委員会において**院内BLS研修**を2回/月開催し、看護師だけでなく**コメディカルの方々の参加**もいただいております。救急領域は緊張感が高く、シビアな臨床場面を数多く経験しますが、救急に関わる人たちと協力しながら**患者さまの生命と生活を支える救急看護**を目指して活動していきたいと思っております。 **救急看護認定看護師**  
小林 望

## キャリアアップ研修 in たびら



### 7/19(土)『感染対策の基本と感染症対策』

看護師・看護補助者・介護士・栄養士等、41名の参加がありました。標準予防策、経路別予防策、手洗い、PPE(個人防護具)、インフルエンザ・ノロウイルス感染症について講義とデモンストレーションを行いました。デモンストレーションでは、手洗いチェッカーを使用して洗い残った部分を見て、自分の癖を確認してもらいました。また模擬吐物を使用し、吐物の処理方法を実践していただき好評でした。

### 8/23(土)『創傷ケアの基本』

県北地区の病院の看護師・介護職の方25名の参加がありました。皮膚の構造や創傷治癒過程についての講義と創傷被覆材の使用法や洗浄方法のデモンストレーションを行いました。講義内容が少し難しかったという意見もありましたが、デモンストレーションで実践を行うことができ、研修全体としては満足した・理解できたという意見を多くいただきました。

### 『デング熱について』

デングウイルスをもつ蚊(ヒトスジシマカ)によって起こる感染症です。最近ではテレビであまり報道されなくなりましたが、**国内感染者の数は毎日増えています**。蚊の活動範囲は100m程度ですが、感染した人の移動によりいつ身近におきかわかりません。**蚊→人→蚊**という感染経路なので、蚊に刺されないようにすることが予防です。**(木の茂みに近づかない、無用な水を溜めない、虫よけ剤を使用するなど)**もし感染しても重症化することは5%程度とまれなので落ち着いて対応しましょう。

感染管理認定看護師:岩本 さゆみ

天狗じゃないよ・・・  
デングだよ!!

